

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成29年10月20日 (N0.98)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

## ニセコ町教育委員会の皆さん7名来庁

■10月20日(金)、ニセコ町教育委員会菊地博教育長様をはじめ7名の教育関係者が浦幌学園及び浦幌町教委を視察されました。

ニセコ町では平成27年度からCS導入等

促進事業に取り組まれ、今年度から本格的にCSを実践されている町であり、多くの刺激や示唆を与えていただきました。主な協議内容は次の通りです。

### (1) 学社融合や首長部局等との連携について

CSは学校教育と社会教育のどちらかが主担当であっても、学社が融合して取り組むことが大切です。また、首長部局やNPO組織等と連携して人づくり、まちづくりを進めることが効果的です。「ニセコスタイル」と「うらほろスタイル」は共通した取組があり心強く思います。

### (2) アクションプランの作成について

学校運営協議会では、学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、子供たちに豊かな学びや育ちを保証するために、「熟議」を重ねてアクションプランを作成しています。アンケート等を通して多くの町民の考えをもとに学園アクションプランを作成することが大切です。

### (3) 学校支援ボランティアの発掘について

従来の「人材バンク」方式よりも、誰もが参加し得る具体的な内容の「プログラムバンク」方式が現実的です。学校側のニーズに応じて地域事情に詳しい学園CS委員会の人たちがコーディネーター役となってボランティアを探しお願いする方法をとっています。

### (4) 当事者意識の高揚について

CSに対する負担感や不要感、多忙感を解消するためには、やらされ感を取り除いて主体的に取り組んで充実感を味わってもらうことが大切です。そのためには導入の目的やメリット、効果等を共有し、積極的に関わっていく仕組みづくりが必要です。地域住民が学校とともに「熟議」し、協働して取り組む中から当事者意識が培われていきます。

### (5) CSと地域イベントとの関わりについて

従来のPTA活動がCSの活動に移ることにより、参加者も地域住民へと広がりを見せてき

ました。「しゃっこいフェス」や「浦幌学園うらモンGO!」「上浦幌学園子供夏まつり」等、地域イベントへの参加・協力が増えてきました。

